

神奈川県立保土ヶ谷養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和元年度 神奈川県立保土ヶ谷養護学校 第4回 ほどう協議会		
開催日時	令和2年2月25日(火) 午前9時30分～11時30分		
開催場所	保土ヶ谷養護学校 保護者控室		
(役職名) 出席者	副会長：浅野 和則 委員：栗原 敏郎、大上 和成、田中 久、岩井 敦子 片岡 充彦 事務局：向井 博幸、井上 浩子、村山 知美、石田 佳子、横沢 秀和、 小澤 京子、渡部 正彦、岩瀬 博文、柏原 旭、中谷 元、 川口 圭子、石瀬 有治、平澤 東子		
次回開催予定日	令和2年5月下旬頃 実施予定		
問い合わせ先	神奈川県立保土ヶ谷養護学校 副校長 向井 博幸 TEL 045-714-0581 FAX 045-742-9716		
下欄に掲載するもの	・ 議事録	議事概要とした理由	/
審議(会議)経過	○開会 開会を宣言。 1 副会長挨拶 ・それではただいまより、令和元年度第4回学校運営協議会を開催する。年度最後の協議会となる。本日、会長欠席のため、議事進行は副会長が行う。石瀬総括教諭が記録を務める。学校評価等に係る協議をよろしく願う。 2 学校長挨拶 ・参会御礼。学校関係者評価をよろしく願う。また、次年度の計画も説明する。現在、学校は新型肺炎の関係で慌しく対応している。会議自体も、できるだけコンパクトにして影響を少なくしたい。 3 出席者及び会成立の確認 ・委員2名欠席だが、過半数の出席により成立。また、本協議会の検討内容は、ホームページで公開する。 4 資料確認、流れ説明 資料の説明と流れの確認をする。事前に資料を送付しているが、追加資料もあるため本日配付した。		

5 学校評価部会(年度末評価・学校教育評価の報告)

- (1) マトリクスについて、各校務グループ・学部の反省の中では D がいくつかついており、4の地域との共働では A が多い傾向がある。資料①を使って説明したい。協議をよろしく願う。D のついた箇所を、今後どうしていくかが課題となる。
- (2) 資料左半分は取り組み内容、右側半分が評価内容となる。学校関係者評価には、保護者アンケートの結果、生徒による授業評価、学校運営協議会委員の皆様の助言もここに入る。これらをまとめ、3月末県に提出する運びとなる。
- (3) 学校評価については、新学習指導要領本格実施にむけ、具体的な観点を設定し、取り組んできた。
- (4) 学校目標 1 では、生徒授業評価でも前向きな意見がいくつも出ている。新指導要領の本格実施に向け、過渡期的段階ゆえの様々な状況と言える。ポイントは、いかに学部ごとに具体の実現可能な目標を設定できるかがカギになるとらえている。
学校目標 2 では、保護者アンケートの「今後に期待すること」の項目で3位に「教員の専門性の向上」がある。全体研修で学んだアセスメントの視点が、個に応じた支援の展開や見直しに役立ち始めている、と言える。
学校目標 3 では、進路指導・支援の充実、学校卒業後を見すえた教育展開が問われており、進路見学会・研修会を行う中で様々な進路先の状況を知り得た。その情報をもとに、高等部では社会人として必要なコミュニケーションや手指の操作にかかわる学習・作業の指導を行っている。各学部段階でつけたい力についてまとめたものが「図 1」で、これについては、教育企画グループリーダーより説明申し上げる。各学部レベルでも、例えば高等部や平沼分教室のように具体の目標設定をしたところは、ある程度の成果を得られたと考える。ただ、教科・領域ごとの学習内容のシラバス作成など、学部間や教科間のつながりの「見える化」を図る手立ては、今後の課題と言える。
学校卒業後の生活のありようをふまえたとき「働く」だけではない、「暮らす」や「楽しむ」要素も含めた、授業の改善等について、ご意見を頂戴したい。
- (5) 学校目標 4 は、「共生社会の実現と成熟に向けた取組推進」である。「達成状況」にあるように、学校としての長い歴史の中で、様々な取り組みを展開している。「支援だより」、「バラスポーツ」、「境木小学校との初めての交流」など。後ほど、連携支援グループリーダーから今年度の取り組みについて概括させていただくが、種々の地域交流や貢献活動を通じて、共生社会の実現と成熟につながる取り組みを展開することができたと考える。
- (6) 学校目標 5 については、校長が最優先課題としているところで、具体的方策及び評価の観点にも4つの切り口を示している。その中で、方策①については、障害特性・実態に応じた防災教育を展開できつつある、と言える。後ほど、小学部リーダーから具体を報告申し上げる。一方、方策③

「人権を大切にした授業づくり」については、中学部からの報告にあるように、児童生徒への適切な対応に関して、「繰り返しの確認」と「様々な人材の協力体制」を挙げている。いずれの事業所・機関においても、「大規模災害時の対応」と「人権に配慮した取り組み」は共通の課題と考える。ぜひ、各事業所・機関での工夫や配慮等、お教えいただきたい。

- (7) それでは、ここで保護者にご協力いただいた「教育活動に関するアンケート結果」及び、「生徒による授業評価」について、教頭より報告させていただく。資料②をご用意願う。
- (8) 続いて、学校教育計画「4年間の目標」に対する取組達成度評価の総括をご説明したい。資料③をご覧いただきたい。

6 協議その①「学校評価に係る改善策検討等」と承認

- ・(会長) <副会長代読>マトリクスでDがついたもので報告書に入っていないものがあるので、入れた方が望ましい。Dがついた項目でも報告書では「できた」と記載されている。Dとした理由やどういう状況をDとするのか。課題の背景にある要因や理由について分析が必要である。

マトリクス全体は、概ねAないしBとなっているので、継続的な取り組みを願う。一方、「今後に向けて」に記載されている管理面だが、経営的な視点やカリキュラムマネジメントの視点からの評価や分析も大切になってくる。

生徒のアンケートから得られた声は、できるだけ次年度の取り組みに反映されるよう願う。保護者アンケートもそうだが、教員アンケートの回収率をもっと高める必要がある。保護者アンケートでのICTの項目とイベントや地域貢献に係る項目の結果については、多くの特別支援学校でも同様の結果となっている。保護者にとっては、ICTを活用した授業の様子だけでなく、その効果やメリットが見えないことやイベントが自分とは距離があると捉えられているのかもしれない。できるだけ身近なこととして保護者を巻き込むような、保土ヶ谷養護学校ならではの工夫やアイデアを活かして取り組みを進めていただきたい。

身につけたい力を「見える化」する取り組みは、大切である。今回作成したものをもとに、ブラッシュアップされることを期待する。

→(副校長)ご指摘いただいたDのついた項目は、各担当総括に背景や要因の分析に取りかかるよう、すでに指示している。

—協議開始—

- ・(委員 D) 防災に関しては、やっていることを知ることができてよかった。生徒へのアンケート結果も高等部の授業の状況もわかり、やりたいことがあって前向きに捉えている生徒が多いと感じた。畑の構想は、夢のある学校になると思う。
- ・(委員 C) 具体的かつ計画に基づいた行動を今後も続けてほしい。今後に期待したい。進路指導のあり方に関心が高いのは、大きな課題と言える。
- ・(委員 B) 学校目標 1 に関して、自身の所属と幼稚園の間で交流したときに視覚障害のある園児がいて、手話を使って話しかけたら、とてもスムーズ

にコミュニケーションを取ることができた。自分の気持ちを伝えられることは、とても根源的で、伝わることで自傷や他害行為が軽減されることもあると聞いている。学校は進路先との連携の中で、ぜひサイン等代替表出手段のノウハウの引継ぎも行ってほしい。

学校目標2については、学部単位で身につけたい力が学習内容に組みこまれているのがよい。それを見直し、さらに使いやすくしていくことが重要。

学校目標4の地域連携は、素晴らしい。自身の所属でもボッチャをもとに地域交流が深まっている様子がテレビで紹介されたことがある。このような活動は、積み重ねが大切で、細く長く続けてほしい。

・(委員 A)よくここまでやっている。努力した結果が出ている。目標については、どれも同じように取り組むのではなく、優先順位を付けて取り組むとよい。生徒による授業評価は、学習への期待と意欲が読み取れ、時代の変化を感じる。企業としては、就労に向けた取り組みを取り入れ、生徒の持っている力を伸ばしてほしい。

・(副会長) 年間取り組みの評価、マトリクスのまとめ、評価できる。企業でも360度評価を行っているが、保護者や教員によるアンケート結果は今後の学校経営に生きる。同じ質問項目は、経年での変化をみると傾向が分析できる。生徒による授業評価は、次年度は紙面でいただきたい。

学校目標の1の(2)は、Bになっているが、Aでよい。舞岡分教室と平沼分教室の評価もBにしてほしい。学校目標3の(2)のDは、AかBにしてほしい。舞岡分教室と平沼分教室の12年間の学習内容の系統的整理は、空欄でよいと思う。学校目標2は、各学部の評価をうめた方がよい。学校目標4の取り組みは、エクセレントである。学校目標5は、BをAにしてほしい。

4年間の評価は、抜群である。◎をもう1つ付けてほしい。2を◎にして、5はなぜ△なのか？取り組みはよくやっていると思う。

→(副校長)人権の課題を周知することの難しさを日々感じている。

→(校長)人権は、意思表示が難しい子どもたちに今の気持ちを伝えられるように指導を続けている。移動中でも、言語の指示や視覚支援の中で動けることが理想であるが、実際の指導の中で、「急ぎなさい」と身体接触することがある。理想を求めてやっているが、「走るのをやめなさい」のように声の指導も含めて、現在やっていること、これからすることもあるので△○としたいが、△とした。

→(委員 B)人権に配慮した教育は、大切である。福祉の世界でも行き過ぎた指導と利用者のことを思った指導は、区別が難しい。場合によっては弁護士を入れて考えるようにしている。学校では、オープンにしていけないといけないと思う。第三者に見てもらって説明できることが大切。また、正しい指導なのかどうかを議論することも大切である。一番重要なところは避けて通れない。自分ではよいと思っても他者から見るとそう見えないこともある。

→(委員 C)人権の取扱いは難しい。指導している側が根拠をもっていないといけない。見た人からはそう見えない場合もあり、判断は難しい。

—協議終了—

- (副会長)協議をふまえ、委員各位、学校取り組みを承認いただけるか。
→拍手をもって、「承認」。

7 令和2年度 学校運営協議会運営計画等の提案

・(事務局)これまで本校は、学校運営協議会の試行校として取り組んできたが、今後すべての学校で実施される予定である。次年度の協議会へのご案内は今後行う予定だが、部会取り組みの内容としては、学校評価部会と切れ目ない支援部会があり、切れ目ない支援部会は、学校間交流、パラスポーツイベント、ほどネット、ほどボラ などの取り組みを構想している。パラスポーツは、幼稚園や地域の方々の参加を呼び掛けていきたい。次年度は、ほどネット、ほどボラを立ち上げる予定。そこでは、登下校の見守りなどを想定しており、地域のボランティアの活用と地域とのつながりを増やしていけたらと考えている。委員としては、権太坂小学校や境木小学校も加えていきたいと考えている。

また、地域力を活用し、教育活動を活性化するために令和5年度に環境部会を立ち上げる計画を持っている。その準備として、安定した野菜の収穫や土地改良について外部講師の力を借りて、学ぶことができれば、と考えている。近い将来には、「八百屋 ほどよう」として、地域に向けた野菜販売などできれば、と考えている。

8 協議その②「令和2年度 学校評価に係る改善策検討等」と承認

—協議開始—

- ・(委員 D)パラスポーツイベントは、学校卒業後もかかわれるようになるとういが。
→(校長)特体連の行事も卒業後も参加させてほしいという声があるが、基本は在学している人が対象となる。高体連に準じているためである。障害者スポーツ協会が立ち上がったのでそういう中で考えられるとういと思う。
また、学校では、学校施設の開放が始まっていて、体育館は、火曜と金曜の17:00~19:00の間に開放している。
- ・(委員 A)環境部会は、夢があると思う。ただ、専門的な知識がないと難しいので、ボランティアがうまく活用できるとよい。令和10年と言わずもっと早く実現できるとよい。やるなら早く取り組んで、ぜひ軌道に乗せてほしい。
- ・(委員 C)権太坂境木地区連合自治会でも、ふれあい樹林の作業部会があつて8名くらいが活動している。ジャガイモやサツマイモなど年間を通して農作業をして、それなりのものが収穫できている。もう15,16年活動しているが、若い人が入ってこない。話はしてみるが、学校まで手伝えるかはわからない。
- ・(委員 B)環境部会は楽しみである。詳しい人がいなくなると、継続が難しくなるので、ノウハウなどマニュアル化して維持を。年間スケジュールを作成

	<p>するとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(副会長)令和5年からというのは、準備を考えると遅くはないかもしれない。長く続くことが大切と考える。 <p>—協議終了—</p> <p>○(副会長)協議をふまえ、委員各位、学校取り組みを承認いただけるか。 →拍手をもって、「承認」。</p> <p>9 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(事務局)本校は、平成30年度からモデル校として取り組んできた。令和2年度からは、本格実施となる。委員としては、PTA代表が交代する見通し。次年度、第1回は、5月末か6月初めを予定している。 <p>10 学校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度のご協力ありがとうございました。無事に協議会を終えることができ感謝している。 <p>11 副会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員からの様々な意見に、学校は真摯に対応していただき感謝している。学校の取り組みが前進していると実感した。 委員の皆様もご協議ありがとうございました。 <p>○閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
<p>会 議 資 料</p>	<p>※添付なし</p>